

10月RI月間テーマ「経済と地域社会の発展月間」
第3161回例会 2019年10月15日(火)

ホテル花城

◆例会プログラム

進行：会場監督 S.A.A

- | | |
|----------------|---------------|
| □開会点鐘 | 鹿討会長 |
| □ロータリーソング斉唱 | |
| □四つのテスト | |
| □ゲスト紹介 | 幹事 |
| □本日のプログラム、メニュー | 親睦委員会 |
| □会長の時間 | 鹿討会長 |
| □クラブフォーラム | 社会奉仕委員長 藤田勝敏君 |
| □幹事報告および委員会報告 | 幹事 |
| □出席報告 | 出席委員会 |
| □ニコニコ・ボックス | ニコニコ・ボックス委員会 |
| □閉会点鐘 | 鹿討会長 |

◆幹事報告

幹 事

- ・「会長エレクト用資料」送付のご案内
〔RI第2520地区ガバナーエレクト 伊藤智仁〕
- ・ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI)パートⅡ
開催のご案内
〔RI第2520地区ガバナー 鈴木賢〕
- ・11/15(金)令和元年度「花巻市安全・安心まち
づくり大会」の開催について(ご案内)

◆今後のプログラム・その他の予定

- 10/22(火)休会 祝日(即位の礼 正殿の儀)
- 10/26(土)大船渡 RC60 周年式典
- 10/27(日)IM(インターシティミーティング)
- 10/29(火)会員卓話またはゲストスピーチ
- 11/02(土)長期交換 IB 生オースタムキャンプ
- 11/05(火)慶祝・クラブフォーラム：R財団委員会
- 11/12(火)ゲストスピーチ
一般社団法人かな社会事業事務所 高橋 岳志 様

◆3160回 例会の概要

■会長の時間(12/49) 鹿討康弘 君

私事ですが、本日10/1をもって花巻機械金属工業団地の川辺産業の代表取締役社長に就任しました。土地建物・株式をウノーで買収し完全子会社となりました。川辺助之氏は代表権のない会長となりますが、今まで通り工業団地の理事長として各団体の役員として活動して頂くことになります。まさか私が川辺産業の社長になるとは夢にも思いませんでした。どちらかと言えば関わりたくなかったのが本音です。あまりにも企業風土が違いすぎるからです。決して順調ではない企業の買収はウノーにとって大きなリスクです。なぜそこまでして川辺産業の再建に関わらなければいけな



いのか？一言で言えば「恩返し」です。技術者でもなく、経営者の後継者でもなく、一般的なサラリーマンの息子で喫茶店のマスターだった私が、今こうして製造業の経営者として先輩経営者のみなさんと仲良くさせて頂いているのは、この工業団地で33年間育てられたおかげであり、川辺理事長に、事あるごとに支援して頂いた以外にありません。

その川辺理事長の会社のピンチをどうしても、無視できなかったからであり、今ここでこれまで頂いた多くの恩を返さなくては、きっと後悔すると思ったからです。

ウノーにとっては、この義理人情が決してプラスではないことは重々承知しています。しかし今私がこうして生きていられるのは多くの人たちの「恩送り」のおかげだと感じているので、60を過ぎた今、私が頂いた恩を返すのが当然のことだと思っています。

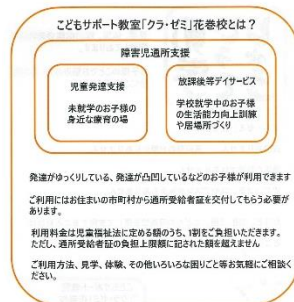
◆ゲストスピーチ

(株)クラ・ゼミ 花巻校 金澤 利充 様
「発達障害児支援で今思う事」



株式会社クラ・ゼミは静岡県の浜松市に本社があります。現在、全国に170事業所を展開しております。岩手県では北上校が2018年10月開所、花巻校は2019年3月に開所しています。東北では17校(青森県3校・岩手県2校・秋田県1校・宮城県4校・山形県6校・福島県1校)展開しており、私たちは児童福祉法に定められた事業を行っています。児童発達支援(未就学児)と放課後等デイサービス(就学後18歳まで)の多機能型事業所です。クラ・ゼミは1対1の個別支援を大切にしています。マンツーマンで関わり、さらにその子どもがどんなことに困っていて、どうやって乗り越えていけるお手伝いができるかを毎回指導員がプログラムを作成して支援する方法で行っています。スモールステップを重ねて新たなステージへとつなぐ支援をしています。

現在、花巻・北上管内では個別療育・個別支援を行っている施設はクラ・ゼミだけです。送迎付きの預かり型の施設が大半の中で、クラ・ゼミ花巻校・北上校は送迎をせずに1対1の関わりを大切にしているスタイルです。これは全国170事業所ほぼ同じスタイルでやっております。現在、花巻校は管理者、指導員併せて3名、北上校は4名と少人数で運営しております。「障害児」は「こども」であって、何らかの支援が必要だけで、皆同じ「こども」なんです。そこで支援を行うために区別をすること自体必要なのかなと思います。「障害児ではないと支援が出来ない」ではなく、こどもの最善の利益が優先される、こどもが困っているのであれば手を差し伸べる、このような支援を実践していきたいと考えています。



◆発達障害とは◆

・SLD（限局性学習症）-読み・書き・計算の障害
 ・ADHD（注意欠如・多動症）-多動性・衝動性等
 ・ASD（自閉スペクトラム症）-目があわない・こだわり
 我々が普段目にして感じている世界とは違う、別の感じ方や見え方のする子ども達が花巻にもいます。これら発達障害は複雑に重なり合い、複数の問題を抱えていることがよくあります。通常のクラスの中に発達障害の可能性のある支援が必要な子どもが何人いるか調べると、学習や行動面で困難を抱えた子ども（診断がなくても）が、通常学級 30 人のクラスだとすれば 1~2 人（6.5%）はいるという調査結果があります。発達障害で私達が気をつけなければならないことがあります。それは発達障害の困難さから心を病んでしまうことがあるということです。発達障害によって失敗が起こりやすかったり、うまくいかないことを繰り返したりすることで「うつ状態」や、リストカット（自傷行為）などの「二次障害」（精神疾患）となる場合があります。自分の個性（特性）持ち続けたままでも自分らしく生きていけるようにサポートをしていくのが我々の目指すところです。

◆支援から見てきた問題点など◆

幼児期に診断がついたとしても、成長し大人になってどうやって自分らしく生きるかが重要だと思います。私が一関市で支援した時の話ですが、障害を抱えてお金の管理ができない、高齢の両親が亡くなって支払い出来ない、電気が止まったまま、食べることが出来ない、ただ寝ているだけ、健康保険証の受け取り方がわからないので病院に行くことも出来ないという方々と会う経験をしました。早期療育や早期支援を行うことは自分の特性を活かして成長し、幸せな生活を目指すことの他に、我々のような支援者がいるということを知ってもらうことができます。子ども達が困ったときに「困っているんだ」と声を出することができる、それを受け入れる社会があるというのが望ましいと思います。そして、自分なりにしっかり働いて、納税できればうれしいです。やはり障害者年金だけでは生活は難しくなりますし、働きたいというニーズも当然にあります。障害者雇用もですが、地域社会で障害が理解され、より多くの受け皿が出来てほしいという思いで日々支援しています。

小学 3 年生の女の子ひかるさんがイギリス海岸の無料休憩室で個展を開きます。こういう機会があると彼女自身の自信になり、さらに意欲がわき新たなチャレンジにつながっていきます。

（期間 10/11~10/14 の 4 日間）



◆出席報告

出席委員会

32 人中 14 人出席 出席率 56.0%
 前回修正 64.0%

メーキャップ

10/6（日）ロータリー米山記念奨学会

伊藤隆規君

■ニコニコ・ボックス紹介 ニコニコ・ボックス委員会

＜鹿討康弘君＞

本日はクラ・ゼミ金澤さん貴重なお話を頂きありがとうございました。社会的に意義のある活動だと思いました。ロータリークラブとしても今後、何らかの関わりを持てたらと思います。本日は、「ぬくまる食堂」の営業日です。メニューは「炊き込みごはん」と「豚汁」です。みなさんの来店をお待ちしております。北上和賀 RC 高橋さんいつもありがとうございます。

＜阿部一郎＞

クラ・ゼミ花巻校 金澤様、本日は忙しいところゲストスピーチをして頂きありがとうございます。増々の御活躍をお祈り申し上げます。

＜橋川秀治＞

クラ・ゼミ金澤様、本日は発達障害を取り巻く、諸問題についてお話いただきありがとうございました。私も ADHD 気味の所もあり、よく失敗をしますが、いろんな特徴を持った人たちがチャンスを広げられる世の中であって欲しいと思います。先週はインフルで、理事会・例会を休みました。藤田副幹事、いつもありがとうございます。

＜佐々木史昭＞

クラ・ゼミの金澤さん大変勉強になるゲストスピーチをありがとうございました。引き続き発達障害児支援、頑張ってくださいと思います。応援しております。今週末は青少年交換プログラム応募生の選考試験が仙台で行なわれ、面接官を務めます。

＜立花徳久＞

クラ・ゼミの金澤様、ご講演ありがとうございます。分かっているつもりでしたが、より理解を深めさせていただきました。ありがとうございました。先週は欠席いたしました。すみません。

＜高橋豊＞

9 月 30 日、宮野目田力の田んぼで花小 5 年生を対象にクボタ農業元気教室を開きました。幸い好天に恵まれ、子ども達は元気に鎌で稲刈りました。手刈りのあとでコンバインで刈取りしました。後日、学校の給食で食べてもらう予定です。子ども達が自然にふれ、笑顔いっぱい田んぼでした。

＜伊藤隆規＞

10 月 6 日米山記念奨学会研修会が仙台であり出席して参りました。多くの奨学生をお迎えするには特別寄付が広く浅く必要である旨、研修して参りました。金澤さんありがとうございました。

＜藤田勝敏＞

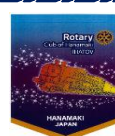
10/9(木)より 10/11(土)まで商工会議所工業部会(四国方面)研修旅行が計画されています。台風の影響を心配しております。

ニコニコ・ボックスへの

ご協力ありがとうございました。

◆例会メニュー

県産 帆立貝と白鯛の
チリソース



2019-20クラブ会報委員会

委員長：橋川秀治・副委員長：藤田勝敏

編集責任者：鹿討康弘

制作：(株)ウノーインダストリー

